

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2006-82062(P2006-82062A)

【公開日】平成18年3月30日(2006.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-013

【出願番号】特願2004-272357(P2004-272357)

【国際特許分類】

C 0 2 F	1/28	(2006.01)
B 0 1 J	20/20	(2006.01)
C 0 2 F	1/40	(2006.01)
E 0 3 F	5/14	(2006.01)
C 0 1 B	31/02	(2006.01)

【F I】

C 0 2 F	1/28	N
C 0 2 F	1/28	D
B 0 1 J	20/20	B
C 0 2 F	1/40	E
E 0 3 F	5/14	
C 0 1 B	31/02	1 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月28日(2006.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 7】

なお、電極材料等に使用されるか焼コークスを製造する際には、ダストの防止を目的として、得られるか焼コークスに防塵油（デダステイングオイル）を吹き付けるのが通常であるが、本発明の製造方法はかかる防塵油処理工程を含まない。したがって、本発明の吸着剤には防塵油が含まれない。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

通油性を有する袋体としては、例えば、細孔を多数穿設した紙や不織布からなるシート材を、開口部を有する袋状に形成したものを使用することができ、本発明の吸着剤を袋体に充填した後に開口部を閉じて吸着剤が袋体から出ないようにする。袋体の形状は特に制限されず、マット状や棒状とすることができます。